

私の趣味 No.30 イッピン

栄地区栢田
伊藤貞子さん(84歳)

色を重ねて イメージを表現“油絵”



10年近く前に油絵サークル「とわの会」が結成されて以来、50点を超える作品を描いてきました。絵の具を重ねて、自分のイメージを表現するところに油絵の面白さを感じますね。今月下旬に個展を八日市場公民館で開くので、ぜひ見にいらしてください。(伊藤貞子展 10月22日(日)～26日(木) 10時～15時)

はつらつ No.131

中央地区八日市場口
高安うららさん(13歳)



心を込めて“詩心”を伝えたい

兄の稽古に付いて行ったのがきっかけで、4歳から「日本修道流吟詠会」に入り、詩吟を習っています。

詩吟の詩歌は何百年も前の「漢詩」で書かれているので、初めて歌うときは一つひとつの言葉や内容を理解するところから始め、時代背景や作者のことも調べます。また、尺八や琴の演奏に合わせて歌うためリズムを取るのが難しいですが、詩の内容を捉えて歌で心情や情景を再現する“詩心”を聞く人に伝わるように心を込めて歌っています。

9月に出場した「全国吟詠コンクール決勝大会」では、初めての全国大会ということもあり緊張しましたが、全力を出せました。私より年上の出場者がほとんどで、歌っているときの「小節」などに技術の高さを感じました。これからは、全国大会で入賞できることを目指して、技術を磨いて稽古に励みたいで

いっぱい遊んで、のびのび育ってね!



佐藤瑛斗くん1歳

平成28年3月26日生まれ(横須賀)

アイドル登場
No.234

アイドル募集中! お子さんの写真に、氏名・生年月日・両親氏名・住所・電話番号・コメントを添え、郵送、持参またはメールでご応募ください。

みんな みて!みて!!

アートギャラリー



松ぼっくりで壁飾りを作ったよ。葉っぱの形の紙を染めるのが大変だったけど、ビーズの飾り付けは良くてよかったよ。

匝瑳保育園
太田愛珠ちゃん



吉田小6年
石井心晴さん



「生」の“始筆”が特によく書けました。墨の量が多くなってしまい、「海」と「物」の字がにじまなければ、満点でした。



将来の夢、ゲームクリエイターをイメージしました。机のバランス調整が大変で、失敗を繰り返しながら作った自信作です。



栄小6年
伊藤祐祐さん

念願の優勝

8月に熊本県で開催された「第44回全日本中学校陸上競技選手権大会」の女子走り幅跳びで優勝を果たした八日市場第二中学校の白土茶実さん（3年）が、メダルと賞状を携えて8月31日に太田市長を表敬訪問しました。

白土さんは「今までがんばった成果が出ました。応援ありがとうございました」と喜びを報告。太田市長は、「匠瑳市の誇り。市民代表としてお祝いしたい」と花束を贈り祝福しました。

決勝は「考えず跳ぶだけ」

20日午前に行われた予選では「思うような跳躍が出来なかった」と振り返った白土さん。同日午後の決勝

決勝での跳躍



※白土さん提供

予選時の動画を見直して跳躍動作のイメージを固め、しっかりと「やることは

全中女王 次の目標は「中学記録の更新」

●白土茶実

平成15年2月生まれ。身長157cm。元陸上選手の父の影響で、小学校3年生のときクラブチームに所属。5年生から走り幅跳びに取り組み、同種目でジュニアオリンピックに出場するなど才能を発揮。

白土さんは、えひめ国体に千葉県代表選手として出場。中学生生活最後の大会に向け、「中学記録の6m20を超え、高校生に負けられないようにしたい」と目を輝かせました。

■えひめ国体に出場

白土さんは「今までがんばった成果が出ました。応援ありがとうございました」と喜びを報告。太田市長は、「匠瑳市の誇り。市民代表としてお祝いしたい」と花束を贈り祝福しました。



太田市長（右）から祝福の花束を贈呈

ハー中・大木さん、八二中・白土さん

陸上

ジュニア五輪 出場

ジュニアオリンピックに出場する大木さん（左）と白土さん



10月下旬に横浜市で開かれるジュニアオリンピック陸上競技大会に、八日市場第一中学校の大木詩織さん（1年）と八日市場第二中学校の白土莉紅さん（同）の出場が決まりました。大木さんは女子100m、白土さんは女子走り幅跳びに出場します。

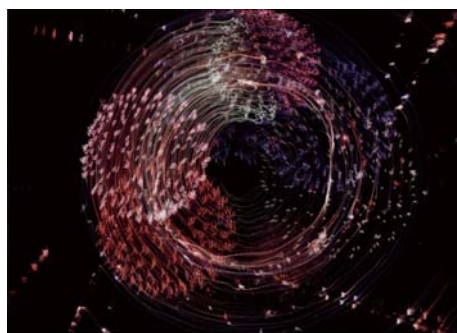
大木さんは、7月下旬の県中学総合体育大会で自己ベストの12秒8をマークし準優勝。また、白土さんは、7月上旬の県通信陸上競技大会で、同部門出場者の中で唯一5mを超える5m39の跳躍を見せ優勝しました。2人はともに、これらの大会記録により今大会への出場資格を獲得しました。

大会に向け、大木さんは「決勝まで進み入賞を目指したい」、白土さんは「自己ベストと大会記録を超えるジャンプで金メダルを獲りたい」と意気込みを語りました。

投稿写真館 No.35

「花火万華」

江波戸 昭 さん（生尾）



撮影場所・匠瑳市

「自作の回転台を使い、カメラを回転させ大浦の花火を撮影。肉眼では見られない一瞬の輝きです」

投稿をお待ちしています！

作品に住所、氏名、電話、題名、50字程度のコメント、撮影日・場所を添えて、ご応募ください。《応募できる人》市内在住者で、一度に一人1点。《サイズ》プリント判は自由、データは1MB以上。《応募方法》郵送、持参、メールのいずれか。

ヘルプカードを知っていますか？



「ヘルプカード」の表面

県では、障がいのある人や、認知症など外見から支援を必要としていることが分かりにくい人などが、周囲の人に必要な支援や配慮をお願いするためのカード「ヘルプカード」を作成しました。

◆カードを持つ人を見掛けたら

カードの携帯方法は財布の中に入れて、かばんに取り付けたりとさまざまです。カードを見掛けたら、優しく声を掛けてあげて手助けをしましょう。※ヘルプカードは市役所1階福祉課および野栄総合支所で配布しています。

福祉課障害福祉班 ☎73-0096